

**企業調査レポート**  
**(決算速報)**

安藤証券株式会社  
調査部：土田 陽一  
平成 24 年 1 月 30 日

**野村総合研究所 ( 4 3 0 7 )**

**業績推移** ( 連結ベース、単位は E P S、配当が円、他は百万円、予は会社側予想 )

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/3	338,629 -0.8%	40,077 -19.4%	40,947 -20.8%	21,856 -10.8%	112.32	52.00
11/3	326,328 -3.6%	38,426 -4.1%	40,073 -2.1%	23,188 +6.1%	119.11	52.00
12/3 予	331,500 +1.6%	43,000 +11.9%	44,500 +11.0%	31,500 +35.8%	161.29	52.00

**主要株価指標** ( 株価、配当利回りのカッコ内は日付 )

株 価	連結 P E R	連結 P B R	配当利回り
1,758 円 (1/27)	10.9 倍 (12/3 期予)	1.4 倍 (11/12 期)	3.0% (1/27)

**業績動向**

2011年4 - 12月期の連結業績は、コンサルティングが順調に拡大したほか、野村証券向け大型プロジェクトがほぼ予定通りに進捗したため、IT基盤サービス以外の全部門で増収を確保、売上高は前年同期比1.0%増と増収を達成した。利益面では、外注費が増加した一方、前年同期に発生した不採算案件の影響がほぼ一巡、売上総利益率が前年同期比1.9ポイント改善、販管費の増加を吸収し、営業利益、経常利益、当期利益とも2ケタ増を達成した(営業利益が前年同期比13.3%増、経常利益が同12.5%増、当期利益が同50.8%増)。

2012年3月期通期について会社側は、売上高を前回予想通りに据え置く一方、営業利益、経常利益を10億円増額、当期利益を5億円減額した。野村証券向け大型案件の売上寄与が当初予想を上回る見通しとなったほか、コンサルティングの収益性向上が営業利益、経常利益の増額につながっており、当期利益の減額は法人税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩しによるものである。

同社の足元業績は、証券業向けを中心にシステム開発需要に力強さは見られないものの、コンサルティングや野村証券向け大型案件などが順調に推移しており、回復軌道に乗ったと見てよいものと思われる。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。